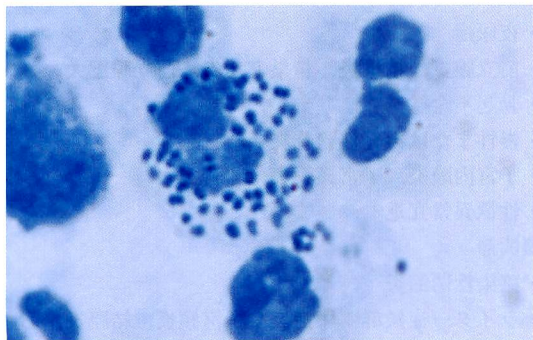


## Medorrhinum 淋病菌 [過激, 極端]

Purulent urethral gonorrheal secretions

### BACK GROUND

淋病 gonorrhea は、グラム陰性球菌に属する淋菌 *Neisseria gonorrhoeae* によって起こる、細菌性の性行為感染症です。病原体である淋菌は、大きさ  $0.6 \sim 1.0 \mu\text{m}$  のグラム陰性双球菌であり、世界中に普遍的に存在しています。淋菌の抵抗性はきわめて弱く、熱



(N)

に対しては  $55^\circ\text{C}$  で5分以内に死滅し、低温や乾燥に対しても弱い性質をもっています。1回の性交で50%の感染率とも言われ、とても感染力が強い性感染症です。粘膜細胞に親和性をもつので、感染は粘膜どうしの接触により起こります。淋菌の抵抗性は弱いので、患者の粘膜から離れれば、数時間で感染性を失ってしまい、乾燥や低温などにより死滅します。

淋病に感染すると不妊症になるおそれがあるために、古代ギリシアの医師ガレノスは、淋病を gonos 種子・精子、rhoia 流れるを合わせて gonorrhea と命名しました。

淋病は、淋菌感染後1週間ほどで、おりものを伴う急性尿道炎、急性膀胱炎症状を発症します。ただし、女性ではまったく自覚症状がないこともあり、不顕性感染は比較的多く存在すると考えられています。尿道と膀胱の急性炎症によって、排尿痛、排尿困難、頻尿、残尿感などが現れ、それと同時に黄色っぽい比較的信り臭が強く、ときに悪臭を伴うようなおりものの増加が認められます。しかし、このような典型的な急性期症状が出現しない例では、膣→子宮→卵管→骨盤内へと菌が進行していき、最後は骨盤内で腹膜炎を起こす可能性があります。この段階になってからはじめて、臨床症状が出る場合も多く見られます。

骨盤内腹膜炎あるいは卵管炎では、卵管の動きが制限されたり閉塞を起こしたりすることで、20%程度

に不妊症を来す可能性があります。淋菌感染症全体のおよそ10～20%程度に、骨盤内腹膜炎が発生すると考えられています。妊産婦が感染していると、子供に淋菌性結膜炎を起こすことがあります。

症状は男性の場合、性行為による感染後2～7日後に、尿道に軽いかゆみや熱っぽい不快感を感じ、尿道口から最初は粘液、次いで白または黄色く濁った膿が尿とともに出始めます。痛みは相当ひどく、進行すると排尿中ずっと痛みます。さらに進行すると前部尿道炎に続いて後部尿道炎を起こして、頻尿と排尿困難となり、排尿の終わりに出血するようになります。

そして、副睾丸炎や前立腺炎を起こし、感染部位が腫脹して痛み、発熱するようになります。将来、尿道狭窄の原因となることがあります。さらに進むと、関節炎や腹膜炎を起こすこともあります。まれに慢性化して、関節炎、四肢の皮疹、心内膜炎、肺気腫などが起こることがあります。

直腸に感染した場合には、便意、痛み、放屁、腸出血、痔、膿便、血便、下痢などを生じます。咽喉に感染した場合には、喉の痛み、咳、上気道部のうっ血などを生じ、感冒様症状を呈します。

### MATERIAL

治療歴のない男性淋病感染者の尿道からの排出物を、純粋で希釈したものを原料とする Nosode です。

### MIND

Medorrhinum タイプは、性格的に**過激な傾向**があります。イライラしていて慌しく、じっと我慢できないことが多いようです。忍耐力がないため、いつもせかせかと急いでいるように行動します。

何をしていても極端です。淋菌が双球菌として両極端に分かれているように、内面が両極に離れています。仕事に夢中になりすぎたり、逆に仕事をしなかったり、恋人に夢中になって愛したり、憎んだり、あらゆる面で**極端**です。

動物に対しても、自分の欲望を満たす格好の相手となるために、異常なくらいに強い愛情をもつか、または虐待をするか両極端です。きれいな花を見ても、すごくその美しさに夢中になるか、まったく無関心かのどちらかです。

迷信深い面があり、宗教などに狂信してしまうことがあります。悲しんだり、自己憐憫の傾向があります。

自己中心的です。他人が周りにいてほしいのですが、決して心から信頼することはせず、疑い深い傾向があります。疑い深さが強まると、強迫観念を抱いてしまうこともあります。

酒類や性交は大好きで、欲望を満たそうとします。ドラッグに走りやすい傾向もあります。この行動パターンから夜型となり、夜は生き生きとしています。しかし、これらの極端な行動は、心の中で罪の意識という歪みとして蓄積されていきます。それを潜在的にはわかっていても、止めることができないために、将来何か悪いことが起こるのではないかという不安を強くもつようになります。そして、さらに悪いことを想像して、その不安にとらわれてしまいます。

Medorrhinum タイプの子供は、その極端な性格から行動上の問題を抱えていることがあります。顔色は悪いことが多く、よく喘息や鼻炎、湿疹などに罹っていることがあります。動物に対しても異常なほど愛着があったり、逆に虐待したりします。暗いところを怖がります。寝るときには、うつ伏せか膝を抱いた姿勢で寝ます。爪をよく噛む癖があります。

#### AFFINITY

Medorrhinum は、とくに精神、粘膜、皮膚、関節、神経、脊髄、腎臓、左卵巣、組織細胞（とくに肺、骨盤、関節）に親和性をもっています。

#### CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、泌尿生殖器系、呼吸器系の感染症によく適用されます。本人や家族に淋病の既往歴がある場合は、さらに効果が出やすいと言われています。

##### ■ 病因によるもの

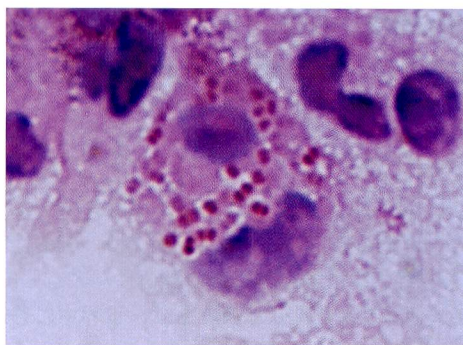
- ・ 淋病の後遺症

##### ■ 呼吸器系

- ・ 喘息：とくに子供の頃からの喘息。うつ伏せに寝て舌を出したり、海辺の空気で改善します。喘息と湿疹を両方もっています。
- ・ 慢性鼻炎、慢性副鼻腔炎：頻回にくしゃみが出ます。多量の濃い薄い黄色か白色の鼻みずと、ヒリヒリする炎症性の痛みがあります。後鼻漏を伴うことがあります。
- ・ 再発性呼吸器感染症
- ・ 呼吸困難：膝を胸に抱える体位で楽になります。

##### ■ 泌尿生殖器感染症

- ・ 淋病
- ・ クラミジア感染症：病変と罹患部位が淋病と似ています。
- ・ 慢性尿道炎



(N)

- ・ 夜尿症
- ・ 前立腺炎、精巣炎、精巣上体炎、前立腺肥大
- ・ 勃起不全
- ・ 慢性または再発性膀胱炎
- ・ 子宮内膜炎、子宮頸管炎、卵管炎
- ・ 性欲異常亢進

##### ■ 関節

- ・ 感染性関節炎
- ・ ライター症候群：尿道炎や子宮頸炎、結膜炎、および粘膜皮膚病変と関連した、泌尿生殖器感染または胃腸炎の後の関節炎。クラミジア感染によるものもあります。
- ・ 踵の腫脹
- ・ 足の裏の感覚過敏症

##### ■ 消化器系

- ・ 胃潰瘍：痛みを伴います。午前2時頃痛みで起きてしまいます。
- ・ 便秘：後ろにもたれかかると改善します。
- ・ 食物：好きな物は、肉、脂もの、魚、塩、甘い物、アイスクリーム、熟す前の果物、オレンジ、アルコール飲料、タバコ。冷たい水や氷を欲しがります。
- ・ 嫌いな物は、ナス、豆類、とろみのある食品

##### ■ 皮膚

- ・ 新生児の殿部の紅斑
- ・ おむつかぶれ
- ・ 足の裏の熱感：子供の例では、足の裏が熱く感じることもあり、裸足で歩くことが好きです。寝ているときでも、足を布団から出してしまうことがあります。

##### ■ 感覚器

- ・ 慢性中耳炎：とくに左耳
- ・ 結膜炎

##### ■ 精神神経系

- ・ 過激な性格
- ・ 強迫神経症
- ・ 妄想性障害



- ・異常な愛着心
- ・動物虐待傾向

### MODALITY

- ▶ 夕方から夜、うつ伏せに寝ること、舌を出すこと、後ろに体を反ること、新鮮な空気、エアコンや扇

風機、膝を抱える、強く擦る、湿った暖かい気候、持続性の運動、海辺、日没など

- ◀ 日中、湿気、寒さ、自分の病気について考えること、日の出から日没までの間、午前3～4時、排尿後、嵐の前など

## Medusa カツオノエボシ [海の Urtica]

Physalia physalis

### BACK GROUND

Medusa は、刺胞動物門ヒドロ虫綱管クラゲ目囊泳（のうえい）亜目カツオノエボシ科カツオノエボシ属の毒クラゲです。直径3～12cm程度の透明な青色の浮き袋のような胴体（気胞体）に、数メートルから十数メートルにもなる長い触手が垂れ下がっています。実際には、1つの個体ではなく、複数のポリプが集まって、1匹のクラゲを形成しています。海面から見ると、青い透明なゼニール袋のように見えてしまいます。

自己遊泳力はほとんどなく、潮流と風に流されるように漂います。日本海沿岸にも8月下旬～10月頃に見られることがあります。鰐の到来とともにやって来ることから、鰐の烏帽子と言われるようになりました。英語では、なぜかPortuguese Man-of-War（ポルトガル軍艦）と呼ばれています。

食性は動物食で、長い触手には魚などを捕らえて食べるための有毒の刺胞があります。この触手の刺胞は、獲物に触れると小さな棘を発射し、神経毒である毒液を注入します。有毒成分には、ペプチドや各種酵素が含まれています。毒の強さは、コブラの毒に近いとも言われています。この毒のある、触手と触手の隙間には、エボシダイという魚が共生しています。

このクラゲの刺胞毒は強烈で、刺されると激痛が走り、その後しびれるような痛み、線状の紅斑や腫脹、水疱形成ができます。この刺されたときの激痛から「電気クラゲ」とも呼ばれています。重症になると、頭痛、血圧上昇、動悸、嘔吐、痙攣、呼吸困難、ショックにより、死にいたることがあります。

### MATERIAL

カツオノエボシ全体

### MIND

Medusa タイプは、外見の美しさを気にします。体型は細くて、食べることにあまり興味がありません。周りの人には冷たいほうです。とくに人生を楽しんでいる人を嫌う傾向があります。このタイプは、とくに変化が好きではなく、いつもの決まった日常生活を好みます。しかし、家事をするのは嫌いです。睡眠を多くとるほうなので、睡眠不足によって体力を奪われてしまいます。

ほかの海のレメディ同様に、音楽やダンスが好きです。Medusa は、Sepia のように1人で踊るのが好きです。音楽は、賑やかなものよりも、1つか2つくらいの楽器の音楽が好みで、ときに音楽に対して過敏に反応することがあります。食べ物では、塩味の濃いものを好み、魚を嫌います。

### AFFINITY

Medusa は、主に皮膚、泌尿生殖器、腺（とくに乳腺）に作用します。

Mind は、やや Sepia に、症状はやや Urtica urens に似ています。

### CLINICAL APPLICATIONS

#### ■皮膚

- ・じん麻疹：広い範囲に起こります。かゆみよりも焼けるような感覚を伴います。魚貝類を食べると悪化することがあります。
- ・顔の浮腫：しびれ感や焼けるような感覚、熱く疼くような痛みを感じることがあります。腕、肩、胸部などに起こることがあります。
- ・水疱疹：焼けるような感覚を伴います。
- ・耳の湿疹：焼けるような感覚を伴います。